

平成30年度「くまもとジュニアアスレティックトライアル」開催要項

1 趣 旨

熊本県内の小学生の参加のもと、運動の基礎動作「走る・跳ぶ・投げる」の記録会を通して、運動能力の現状把握と能力向上を図り、子どもたちがスポーツに親しみを持てるよう環境を整備する。

2 主 催

公益財団法人熊本県体育協会、熊本県スポーツ少年団

3 主管(運営協力)

熊本陸上競技協会小学校体育連盟部会、熊本大学陸上競技部、熊本県立熊本商業高等学校陸上競技部

4 後 援

熊本県教育委員会、一般財団法人熊本陸上競技協会、熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

5 日 時

平成30年12月22日(土) 午前9時30分開会

6 会 場

県民総合運動公園 補助競技場
(〒861-8012 熊本県熊本市東区平山町 2776)

7 参加対象者

県下全域の小学校1年生～6年生
※熊本県内のスポーツ少年団に登録する団員、総合型地域スポーツクラブの会員、その他
※個人参加をはじめ、一般のクラブチームや学校部活動単位での参加も可
※年長(幼児5歳～6歳)の参加も可

8 参加人数

先着200人

9 タイムテーブル

- (1) 【9:00～9:20 (20分)】 受付
- (2) 【9:30～9:35 (5分)】 開会式
- (3) 【9:35～10:25 (50分)】 熊本大学陸上競技部によるワンポイントアドバイス教室
 - 「走る・跳ぶ・投げる」の動きについて、熊本大学陸上競技部の専門選手から秘伝を伝授。
- (4) 【10:30～12:30 (120分)】 記録会
 - 種目 走の部 50m 走 (計測2回/スターティングブロックなし)
 - 跳の部 立幅跳 (計測2回)
 - 投の部 ボール投 (計測2回/ソフトボール1号球を使用)
 - ※計測は新体力テスト実施要項に準ずる。
 - チーム対抗リレー (4人×100m)
- (5) 【12:30～13:10 (40分)】 昼食
- (6) 【13:10～14:20 (70分)】 体力づくりアクティブ・チャイルド・プログラム
 - レクリエーション・運動遊びの要素を含み、参加者の交流と体力づくりを行う。
 - アクティブ・チャイルド・プログラム講師
甲斐 貴子 氏、松崎 貴美子 氏、立山 明佐子 氏、村上 久栄 氏、中尾 雄一 氏、蓑田 顯 氏
- (7) 【14:20～15:00 (40分)】 閉会式
 - 表彰、記録表の配付、講評挨拶

10 表 彰

- (1) 各種目の学年(1・2年、3・4年、5・6年)ごとに第1位、2位、3位を男女別に表彰する。
- (2) 記録表(参加者全員)

11 参加申込・参加料

※各団体で取りまとめて、平成30年12月3日(月)までに、下記のとおり申し込むこと。

※参加申込状況により組合せを作成するため、申し込み後の変更は認めない。

(1) 参加申込

ア 方法 別紙様式「参加申込書」による

イ 申込先 下記①②③のいずれかの方法により申し込むこと。

①郵送・持参「〒861-8012 熊本県熊本市東区平山町 2776 県民総合運動公園陸上競技場」

②ファックス送信「096-388-1584」

③E-mail送信「main@kumamoto-sports.or.jp」(※熊本県体育協会HPに様式データあり)

ウ その他 参加者名はプログラムに掲載するので、楷書で正確に記入すること。

(2) 参加料

金額 ひとり500円(保険料含む) ※当日受付にて徴収。

12 組 合 せ

参加申込確定後、組合せ結果をチーム代表者あて通知する。

13 傷害保険

- (1) 大会中に発生した事故は、応急手当以外、各チームで対処すること。
- (2) 大会中の傷害による通院・入院に対応するため、参加者を被保険者として傷害保険に加入する。
※保険内容については、参加申込後、組み合わせ結果をチーム代表者あて通知時に知らせる。

14 そ の 他

- (1) 各チームから代表者1名は、当日の午前9時から9時20分までに受付を済ませること。
- (2) エントリー選手は午前9時30分からの開会式に全員参加すること。
- (3) 服装は、運動のできる服装であれば良い。(各競技の試合用ウェアでも可。)
- (4) スパイクシューズの使用を禁止する。
- (5) 駐車場は、メイン駐車場またはパークドーム駐車場を利用すること。(えがお健康スタジアムへの車両進入はできない。)

15 大会に関するお問い合わせ・大会事務局

公益財団法人熊本県体育協会 スポーツ少年団 担当：下舞・太田黒

〒861-8012 熊本県熊本市東区平山町 2776 県民総合運動公園陸上競技場(えがお健康スタジアム)内

TEL：096-388-1581 / FAX：096-388-1584 / E-mail：main@kumamoto-sports.or.jp

※アクティブチャイルドプログラムとは…

近年の子どもの基礎的な運動能力は低下傾向にあるとともに、幼少年期に身に付けておくことが望ましい基礎的な動きが獲得されていないといった課題があり、将来的には体力低下と生活習慣病の増加やストレス抵抗力の低下など、健康を損ない、生活の活力が失われることが危惧されています。

アクティブチャイルドプログラムとは、平成20・21年度に、文部科学省委託事業として日本体育協会が作成した「子どもの発達段階に応じて身に付けておくことが望ましい動きや身体を操作する能力を獲得し、高めるための運動プログラム」です。

プログラムには、スポーツよりも更に基礎レベルとなる体を使った運動遊びを行い、子どもたちが楽しみながら積極的に体を動かし、基礎運動能力の向上を図れる内容です。

アクティブチャイルドプログラムの講師は、平成29年度アクティブチャイルドプログラム講師講習会として、認定された講師です。